

# ささえあいの家スケジュール

2018年2月



☎・ファックス 377-3400  
開館 平日 午前10時～午後3時まで  
ささえあい活動の依頼・相談もどうぞ

=10:10～  =13:00～

**予約** はお電話ください。

月	火	水	木	金
※介護予防体操は 13:30～ 500円			1 パソコン 相談	2 フットケア
※フェイシャル&ハンドマッサージはそれぞれ 1000円、500円必要				
※9日はアルミ缶回収日です。				
5	6 囲碁・将棋	7	8	9 小谷さんの 囲碁教室
			介護予防体操 フェイシャル&ハンドマッサージ <b>予約</b>	マッサージ500円
12	13 囲碁・将棋	14 ゴムバンド 体操	15 パソコン 相談	16 岩嶋さんの 軽体操300円
		社協なんでも相 談会 <b>予約</b>	河合さんの 脳トレ	23 小谷さんの 囲碁教室
19	20 囲碁・将棋	21 包丁研ぎ	22 絵手紙 お雛様 100円	23 小谷さんの 囲碁教室
認知症茶話 会	地域包括支援センタ ー相談会 <b>予約</b>	介護予防体操	整膚皮膚をつまん で体調を整えると	
26	27 囲碁・将棋	28	2月19日(月) 10時～12時	
ンカチ作り			初心者のための麻雀の集い つつじが丘ふれあいセンター	

「1円玉の旅鳥」とのラベルを  
貼った袋いっぽいの1円玉の寄  
付がありました。1,007円で  
した。ありがとうございました。

この便りはスタッフが編集。約  
2.5円/枚で、業者の印刷です。



つながる・ささえあう 冬休み小中学生勉強会のこと  
もこさん1年生：「ここへゲームもつけていい?」  
スタッフ：「ここでは、できるだけ相手と一緒にできることを  
やってほしいな。例えば五目並べとかね。  
もこさん：掲示してあるささえあいの家のスローガン「つながる・ささえあう」  
を指して「ささえあうってことは、みんなでってことだからだね。ささえあいの家って、みんなでつ  
てことだっておもっていたよ。」  
言葉の意味がわかつて、ささえあいの家の趣旨を見事に理解  
している話に感動しました。



「ぼくは、いつもは  
笑わないけど、今は  
いっぱい笑いた  
い。」  
4年生の水野さんが  
大声で言いました。  
囲碁で、おじさんに  
勝った時のこと。

参加者の声

「つつじが丘1丁目の人がささえあいの家の当番の時に、同じ班  
の数人が、ささえあいの家に行っているのよ。そこで話すことはた  
わいもないことだけど、近所の人たちとこんな時間を過ごすのも  
いいなって思っているの。いざという時気軽に声をかけられる関  
係ができるものね。」  
ささえあいの家のこんな使い方、とってもいいですね。

## 12/18 ささえあい活動全体会を開催

活動スタッフが集まって、思いを語り合いました

平田：活動すると、恐縮するくらいあります。一つを済ませると玄関ドアもかけでこちらが元気をもらいます。ドアクローザーが壊れています。片石さんが入手し、ネットでノブを見つけ、今週中に工事ができます。

「いつでもよい」と言われてはいるが、早くしてほしいに違ないないので、間をおかず工事したいと思っています。

プロよりは時間はかかるが、依頼者と様々な会話ができる、説明

も丁寧にできています。

別のお宅では郵便受けの裏ふたが傾いているので、プラダンでふたをし、明後日までに本格的に直してやりたいと思っていました。今日実物を見せて、これで直すと言うと、喜んでくれました。心のこもったありがとうという言葉の心地よさと大切さ、年を重ねてきての困りごと、悩みごとなど教えてもらひながら楽しくやっています。他の人にも一緒に活動をしようと勧めたいです。

酒井：登録はしたが、いざ活動の話が来てできるかと心配しました。

吉田さんと2人で木を切りました。自然の会で一緒だった亡くなつた人の奥さんの家でした。1,2時間ですませました。奥さんと話ができる、まだ喜んでもらえてよかったです。

三島：移送も行われているが、各自が自分の車で移送するのだから何の制約もない。金をとると白タクになる。10年前に只とタクシの間に許可を与える移送サービスができました。タクシーの半額。将来的には、ここでも実施すれば、活動が継続可能となります。

紅林：有料になつて、困っている人の作業引越し

ためにという初心を忘れてはいけない。

片石：活動していると、依頼者と活動する者が、家族同様の感覚になります。30分以内の簡単な作業が多くこれは無料です。有料

サービスでも、支払われるのは生活費でなく小遣い程度です。  
地域外で働いている人も、地域内で自分の資格、能力を生かして動けたら良いと考えます。基本は有償ボランティアです。

大柴：少しでも若い人が住みやすいように、参観日等に子守りをしたら良いと思います。とにかく若い人に住んでもらいたい。

佐分：私も、いずれ車を運転できなくなる時が来る。ここで住むにはぜひとも移送サービスを増やしていってもらいたいです。

伊藤：隣家は無人、その隣は高齢者が一人。そこで私は不燃物収集のかごを並べる、ゴミを出す等やっています。そろすると電球替えなども依頼される。蛇の始末も依頼されました。誰でもできることは互いにすればよいと思います。

伊澤：ささえあい烟をやっています。収穫物により働くことを楽しみにしています。活動によつていろんなことに感動を感じています。「つながりあう。ささえあう」を理念にしなくてはいけないと思います。この地域に住むものとして。

若い人が引き継いでいくためには有償が必要だと思います。有本：今日の話し合いの内容は、4,5年前と比べると雲泥の差だと感慨深く思います。前向きな話ができることがうれしい。

前へと進めていきたいです。

市社協 多田羅：ここでの活動は全国的に見てもすごい活動です。モデルだと言われています。市としてはこの活動を全市に広めたいし、この活動を支えていきたいと思っています。



話し合いで話し合いで話し合いました。一ヶ月に一回開催予定です。どうぞ仲間になつてください。